



樟風中学校だより The kusunoki breeze

〒570-0034 守口市西郷通 3-14-60

Tel: 06-6992-7181・Mail: shofu_jhs1@moriguchi-osk.ed.jp

令和6年度《第14号》
(令和6年10月23日)
守口市立樟風中学校
校長 佐藤 裕宣

☆☆ 第10回 体育大会を振り返って～創立10周年記念の輝きと涙・軌跡と伝統～☆☆

第10回の記念体育大会、輝いた表情の中に涙もあって、感動的に終えることができました。創立10周年の今年、生徒会スローガンは『軌跡～伝統を受け継ぐ～』体育大会の生徒会種目・大縄の場面でも執行部が“大縄の精霊”となり、



盛り上げてくれました。「体育大会も先輩方が創り上げてきた軌跡だ！10年間続いている、この大縄という伝統種目を過去一番盛り上げる準備はできているか！」「全力で行くぞ！」と呼びかけ、生徒は大きな声で応える場面がありました。(左)前日には、恒例の3



年生集団演技発表会を行いました。1・2年生が本部側に座り、じっくり正面から観賞しました。『10 SHOFU ♡』の文字(右)は、少し分かりづらかったかもしれませんが、創立10周年を意識した演出でした。以下、体育大会の振り返りです。



◎ 引き締まった『入場行進』・『ラジオ体操』

こだわって練習してきた入場行進。保護者・来賓の熱い見守りを受け、引き締まった出来となりました。来賓として来校された二代校長永井竜二先生から「生徒が素直に前向きに楽しんでいる姿が気持ちいいなあ～」と翌朝、感想のラインが届きました。ブロック長の旗さばき(左)もカッコ良かったです。足踏みの音が揃い、合図とともに一齐に前進してくる場面(下)は見事。全校生徒のパワーが押し寄せてきて興奮しました。私の挨拶を聴く態度も抜群。体育委員長の選手宣誓“学校が一つとなり、ワンチームで最高の体育大会に！”と。思いのこもった名場面でした。



開会式直後のラジオ体操も、見ていて気持ちのいい“集団演技”でした。体操隊形に広がる時の声も元気よく響き、縦・横(右)の列がきれいに揃い、指先・つま先まで意識した体の動き。普段の体育の授業の延長とは言え、全校生徒が一斉に行う集団行動としては、今まで目にする事のなかった光景・レベルだと感じました。みんなでいい雰囲気作りが出来ました。



◎ 1年生へ ～先輩・ミドルリーダーへの準備…全学年そろった体育大会を満喫している感じがベリーグッド！～



1年生にとっては初めての体育大会。全てが良い経験になったはず。同じブロックの2・3年生の応援も受け、真剣勝負に挑む姿。体育大会を満喫している感じが良かったです。特に、学年種目の「タイフーン」(左)や全員リレー(右)でそう感じました。応援態度



も大変良かったと思います。また、生徒会種目の大縄(左)は、練習とは違って結構跳べていたのにも驚きました。応援を受け、一生懸命になることで集中力が高まったのでしょう。何事にも通ずることだと思います。文化発表会や体育大会という大きな学校行事を経験し、3年生・2年生の真剣な取り組み姿勢・カッコいい姿を見た上で、来年・再来年の自分たちの姿を想像してみる。それが12期生全体の成長につながるはず。これからも、先輩から多くを学び、吸収していきましょう。



◎ 2年生へ ～最高学年の準備 着々と…11期生の持ち味・優れた点も 見えてきました。自信を持って！～



2年生に向け開会式で“3年生の良さを受け継ぎつつ、11期生としての持ち味を魅せて！”と伝えました。たっぷり発揮できていたと思います。着々と最高学年への準備がすすんでいるとも感じました。学年種目の「シートキャッチリレー」(左)や全員リレー(右)も見ごたえ十分でした。ブロック対抗で行うリレーや綱引きで

も存在感を示していましたし、スウェーデンリレー(下)のメンバーを見て、男女とも運動能力の高い生徒が多いとも感じました。今から、来年の体育委員長やブロック長を、誰が担



うのだろうと想像するだけでも楽しいものです。近く後期生徒会執行部の選挙が行われ、部活動の秋季大会も始まります。これからの活躍を大いに期待しています。

◎ 3年生へ ～最高学年の貫禄…見事な集団演技に拍手！～

プログラムの最後を飾った3年生・集団演技。男子の動きから始まり(右)、ラスト(下)まで笑顔いっぱい魅せてくれました。表情が豊かで楽しげに演技する姿が印象的でした。ダンス委員を中心にしっかり仕上げてくれました。学年リレー(左)は、黄と緑の接戦でした。全競技を終え、今年は涙の閉会式になりました。



優勝した緑ブロック(1組)は、文化発表会の悔しさもあったと聞きました。ブロック長の涙、生徒会長や体育委員長(右下・閉会式後の場面)の涙に、何事にも一生懸命に取り組む10期生の“軌跡”を感じました。中学校生活も残り5ヶ月を切り、進路に向き合う時期に入っています。次のステージに向け、悔いの残らない日々を…。

